

第8回常任理事会報告

日 時 平成24年3月16日（金）午後2時～同3時15分
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 佐藤田鶴子、荒木孝二
<総務理事> 栗原英見
<常任理事> 川添堯彬、山崎芳昭、福田仁一、向井美恵、
上西秀則、覚道健治、勝海一郎、後藤滋巳、
一戸達也、松村英雄、中島信也
欠席者 <常任理事> 佐々木啓一

[議長 栗原総務理事]

1. 開 会

佐藤副会長より、開会の辞。

2. 挨拶

江藤会長より、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

栗原総務理事より、次の資料に基づき、報告がなされた。

一般会務報告（平成24年1月13日～平成24年3月15日）

第7回常任理事会報告（平成24年1月13日開催）

2) 第 22 回日本歯科医学会総会準備状況報告

川添会頭より、標記について、次の資料に基づき、報告がなされた。

□第 22 回日本歯科医学会総会関係報告

(平成 24 年 1 月 13 日～平成 24 年 3 月 15 日)

□第 22 回日本歯科医学会総会予報プログラム

3) 会計現況報告

山崎常任理事より、標記について、平成 24 年 2 月現在の学会会計および第 22 回日本歯科医学会学術大会会計収支を資料に基づき報告。

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶ 平成 23 年度日本歯科医学会ワークショップ報告書について
荒木副会長より、標記報告書に基づき報告。

▶ 平成 23 年度厚生労働省受託事業「歯科保健医療情報収集等事業」について
佐藤副会長より、標記について、資料に基づき報告。
また、平成 24 年度の同事業企画競争は、3 月 14 日付で厚生労働省より
公示されたため、本学会は企画競争へ参加する旨報告した。

(2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長より、本日の協議事項となっている、革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業評価検討会について、資料に基づき報告。

(3) 専門医制度の在り方の検討

特になし。

(4) 学会機構の改革

特になし。

(5) 国際連携の推進

- ▶ 日中歯科医学大会 2012 開催概要について
江藤会長より、標記について、資料に基づき報告。

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

5) 会長報告

江藤会長より、日歯理事会および常務理事会における報告事項および協議事項について、資料に基づき報告がなされた。

6) その他

- ▶平成 24・25 年度日歯生涯研修事業について
中島常任理事より、標記について、平成 22・23 年度と平成 24・25 年度事業の実施要領の主な改正点等について、資料に基づき説明。

- ▶独立行政法人日本学術振興会 平成 25 年度採用分特別研究員
ならびに同-RPD の募集について
栗原総務理事より、標記について資料に基づき報告。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

- ▶平成 24 年度プロジェクト研究費公募用テーマについて
一戸常任理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、専門・認定分科会ならびに日本歯科医師会から提案のあった計 113 題から、関係役員と学術研究委員会正副委員長で選定することが了承された。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 専門医制度の在り方の検討

特になし。

(4) 学会機構の改革

特になし。

(5) 国際連携の推進

▶第 100 回 FDI 年次世界歯科大学への本学会代表の派遣について

栗原総務理事より、標記大会への本学会代表の派遣について諮られ、協議の結果、原案通り、栗原総務理事の派遣を決定した。

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 平成 24 年度日本歯科医学会諸会議の開催について

栗原総務理事より、標記について、資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り了承。

なお、原案は、日本歯科医学会役員に周知済みであるため、事後承認の取り扱いとなる旨を補足した。

(2) 専門分科会資格審査委員会答申の取り扱いについて（専門分科会加入）

栗原総務理事より、標記について、専門分科会資格審査委員会からの答申書に基づき諮られ、協議の結果、常任理事会として答申内容を了承し、次回理事会で引き続き協議することとした。

引き続き荒木副会長より、今年度の認定分科会登録申請学会ならびに専門分科会加入申請学会の資格審査に係る審議過程において、本学会が目指す分科会組織ならびにその審査等を充実させるために、本学会で検討が望まれる事項について、資格審査委員会から提言があった旨を資料に基づき報告。

同委員会からは、①現在の歯科医学研究の状況を踏まえた時代に即した学問領域体系の整理の必要性、②学術活動評価を目的に、申請学会に

における海外の学術雑誌への投稿状況の調査について、提言があった。

これを受けて、専門分科会承認基準の改正について、協議した結果、改正が了承され、荒木副会長のもとで、改正案を作成することとなった。

(3) 財団法人日本救急医療財団 心肺蘇生法委員会委員の推薦について

栗原総務理事より、標記について、資料に基づき諮られ、協議の結果、嶋田昌彦／東京医科歯科大学歯学部附属病院病院長を推薦することとなった。

なお、本件については、事後承認の取り扱いとなる旨補足した。

(4) 革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業評価検討会への構成員としての参画について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、江藤会長の参画を了承した。

なお、本件については、事後承認の取り扱いとなる旨を補足した。

(5) 後援名義貸与について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、後援名義の貸与を了承。

(6) 役員派遣について

栗原総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、役員のパ遣が了承され、それぞれ派遣役員を決定した。

3) その他

栗原総務理事より、歯科インプラント治療に関する患者向け情報提供（現時点では「紹介」レベル）について、日本口腔インプラント学会（幹事学会）、日本補綴歯科学会、日本口腔外科学会並びに日本歯周病学会に対し、Webコンテンツの作成を依頼することについて、資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り了承。4学会に対し、担当者の推薦依頼を行うこととなった。

中島常任理事より、患者向け情報の公表ホームページに日本歯科医師会が関わっていることから、Webコンテンツがある程度まとまった段階で、日

本歯科医師会としても協力したい旨の提案があり、了承された。

5. 閉 会

荒木副会長より、閉会の辞。